

男女共同参画情報誌

～わたしたちの望む社会へ～

T R Y とらいあんぐる

第4号

皆さん、男女共同参画という言葉をご存じですか。

本市では、平成14年12月「川内市男女共同参画基本条例」を施行しました。

この情報誌は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民の皆さんと意見の交換をしながら一緒に「参画社会」を築くことを目標にしています。

男女共同参画講座 part 4



利夫..「メンズリブ」って知ってる？

同太..「ウーマンリブ」なら聞いたことあるけど、「メンズリブ」なんて

知らないな。

利夫..メンズリブとは男性解放のことだよ。

同太..男性解放？何から解放するんだい？

利夫..「男らしさ」の縛りからさ。

同太..よく分からないなあ。

利夫..男として...男だから...男のくせに...というような考えからさ。以前の僕には考えられないことさ。

でも、君も知ってる通り、リストラされて自分の生き方を見直そうと思ったんだ。そこで知ったのがメンズリブ。

同太..それで、何か分かったのかい？

利夫..男性という性に縛られている自

分に気付いたら、ゆったりした気持ちになれたんだ。そして、「男らしさ」の縛りがいるんな問題に關係あるってことも知ったんだよ。

中高年男性の過労死や自殺、熟年離婚、DV(ドメスティックバイオレンス)すべてに共通しているのさ。

同太..それ、別々の問題だと思うけどなあ。

利夫..一見、そう思うのはよく分かる。でも、よく考えてほしいな。男は弱音を吐いちゃいけないといった意識が、過労死や自殺につながる。

そして、仕事優先で家庭を顧みなかったために、妻とのコミュニケーションが足りずに熟年離婚につながるのさ。

同太..なるほど...で、DVは？

利夫..男は女を支配するもの、という意識が根底にあるんじゃないかな。

今までの男社会の意識のままで、今の時代、とても生きづらくなってきたるんだよ。

同太..そう言えば、自殺者が交通事故死の3倍の3万人。そのうち、7割が男性だって言ってたな。ホント驚いたよ。

利夫..男は仕事で女は家庭、といった

性別役割分担は、高度成長期には、それなりに機能していた。でも、少子高齢化の時代にはもうそぐわない...。

同太..それで、メンズリブって何をするんだい？

利夫..男同士で本音を語り合うことから始める。なんでもいいんだ。自分のことを、具体的に話してみ、そして、自分の問題に気付くことが大切。

ジェンダーに気付いて、意識改革をする努力をしていくんだ。同太..ジェンダー=社会的・文化的につくられた性別ってことだね。

この前、学校でジェンダーって言葉が出てきたって、6年生の息子が言ってたよ。

でもなあ、意識改革って言われてもなかなかねえ...。

利夫..そうなんだ、一番難しい問題は意識改革なんだ。自分たちには關係ないって思っている人たちが多くて、制度は整備されても世の中が変わらない。

ただ、少なくとも子どもたちに正しく理解させてほしい。

社会的・文化的につくられ、また、つくっている性別は、自分たちがつくってきたんだから、変えられるんだってことを、分かってほしいな。